

天理大学附属天理参考館・天理図書館創立 90 周年記念企画特別展  
「大航海時代へ—マルコ・ポーロが開いた世界—」について

1 趣 旨

モンゴル帝国の時代（13～14 世紀頃）、ヴェネツィアの商人である父とともにシルクロードを渡ったとされるマルコ・ポーロ（1254～1324）は、ヨーロッパに東洋の物語を伝えました。それは『東方見聞録』という一冊の書物の形をとり、コロンブスなどの冒険者たちはこの本をガイドブックとして大海原を渡り、大航海時代を切り開きました。この時代は世界史上はじめて地球規模での人・物・文化の交流が行われた時代であり、その波が戦国時代の日本に到達して南蛮文化として花開きます。マルコ・ポーロを起点として、世界が広がっていったといえるでしょう。そして、仙台藩では伊達政宗による慶長遣欧使節の派遣にも繋がっていきます。

本展では、大航海時代へと時代が動く大きなうねりと世界の広がり、天理大学附属天理参考館・天理図書館の所蔵資料から解き明かしていきます。海を渡った冒険者たちの夢と冒険の興奮を、ぜひご体感ください。

2 主 催：仙台市博物館、天理大学附属天理参考館、天理大学附属天理図書館

3 後 援（予定）：在仙マスコミ各社

4 会 期：令和 6 年（2024）7 月 6 日（土）～8 月 25 日（日） 開館日数 44 日  
※休館日 毎週月曜日（ただし、7/15、8/12 は開館）、7/16、8/13

5 観覧料：一般 1,200 円、高校・大学生 1,000 円、小・中学生 500 円  
※10 名以上の団体各 100 円引

6 展示構成：第 1 章 シルクロードの時代 第 2 章 マルコ・ポーロと『東方見聞録』  
第 3 章 世界の形 第 4 章 接触と拡散 第 5 章 日本、そして仙台

7 主な展示資料（予定）

- ・三彩駱駝 唐時代（天理大学附属天理参考館蔵）
- ・成吉思皇帝聖旨牌子（パイザ） 13 世紀前半（天理大学附属天理参考館蔵）
- ・東方見聞録 ピピノ版 ハウダ 1484 年刊（天理大学附属天理図書館蔵）
- ・地球儀 フォペル作 1536 年（天理大学附属天理図書館蔵）
- ・星座帳 バイエル著 アウクスブルク 1603 年刊（天理大学附属天理図書館蔵）
- ・慶長 14 年（1610）沈没ポルトガル船マードレ・デ・デウス号引き揚げ資料（天理大学附属天理参考館蔵）
- ・国宝「慶長遣欧使節関係資料」（一部ユネスコ「世界の記憶」を含む、館蔵）ほか

8 関連イベント（予定）

記念講演会、まちなか博物館講座、友の会広報セミナー、プレイミュージアムイベント

9 その他

展覧会開催に伴い、天理大学附属天理図書館所蔵伊達家文書・仙台吉利支丹文書を借用し、コレクション展示室Ⅱにおいて展示予定。